

都道府県憲法会議・参加団体からのレポート

宮城県憲法会議
埼玉憲法会議
東京憲法会議
神奈川県憲法会議
石川憲法会議
京都憲法会議
和歌山憲法会議
鳥取県憲法会議
広島憲法会議
香川憲法会議
高知憲法会議

全労連
国公労連
民青同盟
日本平和委員会



2026年3月22日
憲法会議第61回全国総会

宮城県憲法会議報告

20260317 宮城憲法会議事務局長 鶴見聡志

1 宮城憲法会議の取組み

(1) 基本方針

宮城憲法会議は、昨年11月に総会を行ない、今年度も5. 3集会、憲法学校、みやぎ市民のための憲法行事2026の三本柱であることが確認されるとともに、学習会運動をより活発化することを確認した。

(2) 5. 3集会

例年、宮城県内の護憲三団体（宮城憲法会議・憲法を守る市民委員会・宮城県護憲平和センター）主催で実施してきた。今年度は、青井未帆さんを講師に「戦争ではなく平和の準備」と「立憲主義の回復」をテーマに進めている。

(3) 憲法学校

宮城憲法会議では、例年、9条に限らず市民の身近な問題を憲法問題としてわかりやすく情報提供して、考える機会を設ける意味で、年3回～4回程度実施してきた。今年度も例年通り、同程度実施する予定となっている。今年度の第1回は3月24日に、「こんなに怖いスパイ防止法」をテーマに実施する予定である。

なお、3月22日に特別憲法学校として、「渡辺治講演」をみんなで視聴する会を実施する。

(4) 市民の憲法行事について

宮城憲法会議では、毎年、各団体が実施する憲法をテーマとしたイベントや学習会の開催企画予定を掲載したチラシを配布して、各団体や赤旗折込を行っている。

自民党及びその補完勢力に埋め尽くされた国会状況のもと憲法の危機的状况を踏まえ、ここ数年20後半で推移してきた「みやぎ2026市民の憲法行事」は35以上の企画の参加を目標に現在活動している。

2 学習会運動の取組みについて

高市政権や衆議院の状況のもとで、解釈改憲の流れが一気に進み、それは明文改憲へとつながるコトとなる。このような危機意識で、私たち憲法を活かす立場にある者が「法の支配」の回復をテーマに憲法の意義を改めて市民に認識してもら

う必要がある。この問題意識のもとで、あらためて学習会の実施を県内の幹事団体に呼び掛け、さっそく多くの団体から学習会と憲法会議への講師派遣の依頼が来ている。

3 明文改憲を許さない宮城の会

衆議院議員選挙の結果を踏まえ、今後確実に改憲策動がなされることは明らかであることから、一昨年岸田内閣時に始動させた標記の会の再始動を行う予定でありさっそく会議を実施し、まずは、3月9日に憲法会議を中心に、宮城県内法律家三団体名義で、「米国・イスラエルのイラン攻撃に強く抗議するとともに、日本政府に対し、トランプ政権に「法の支配」を遵守し直ちに攻撃を中止する申入れを行うことを求める声明」を実施、地元紙やしんぶん赤旗にて報道された。

その後も会議を行い、宮城県内の各団体との情報共有で運動をすすめ、会期末が迫る7月4日に、大きな集会を実施する計画をしている。

いわゆる「戦争を許さない」取組みは、現在各団体が、それぞれ実施している状況である。これをいかに全国的な大きな統一運動として作り上げていくかが課題である。まずは宮城県内の各団体の連絡のためのプラットフォームとして何が適切か、全国のどのような動きと連動すればよいか、紙の署名のみならず、web 署名で全国的な運動が出来ないか、などを議論している。

4 その他の取組

- (1) 今年は、日本母親大会が宮城県で実施されるということで、宮城憲法会議も後援団地として協力している。
- (2) 宮城県では、「スパイ防止法（国民監視法）を許さない！宮城ネット」を立ち上げる予定で活動しており、当憲法会議も事務局団体として、参加している。当初100人を目標に掲げた呼びかけ人も現在150名を超えており、4月4日には「ネット設立の集い」を予定である。
- (3) 6月14日には、宮城全県レベルでの集会を仙台市で開催予定である。現在実行委員会で集会内容等をつめている。

以上

「憲法会議 2026 年春の憲法講座 ～憲法の危機、守り活かす運動ではねかえそう!」

「渡辺治講演」を みんなで視聴する会



全労連会館で開催される、渡辺治さんの講演をリアルタイムでオンライン視聴します。

ウクライナもガザも停戦への見通しが立たない中、またもや大国の横暴で他国の体制転換を図ろうとす米・イスラエルのイラン攻撃。このままでは、国際社会の秩序はたちまちに崩れてしまいかねません。

そうした混乱する世界の中で、平和主義を柱とする日本国憲法の価値が再認識されています。衆議院選挙で自民党・維新の会の与党は 352 議席を獲得し、さらに改憲派の国民民主党等を含めると、憲法を改正しようとする勢力が、80%を超える事態となりました。投票開票日の翌日に高市首相は「憲法改正案を発議し、少しでも早く改正の賛否を問う国民投票が行われる環境をつくっていきけるように、粘り強く取り組んでいく覚悟だ」と改憲への意欲を示しました。今、憲法は極めて危険な事態です。私たちは草の根から改憲反対の共同を広げ、改憲を阻止しなければなりません。渡辺治氏が選挙結果を分析し、高市改憲・大軍拡とどう立ち向かうかを語ります。ご一緒に学びましょう。

講演 渡辺 治さん(一橋大学名誉教授)

「高市内閣の改憲・軍拡の策動の狙い
どう立ち向かうか」

3/22(日)12:30～14:30

視聴会場

仙台弁護士会館 4F ホール



仙台市青葉区一番町2丁目 9-18

主催 宮城憲法会議 連絡先 090-2369-1220 小野寺
協力 市民連合みやぎ

埼玉憲法会議の報告

2026年3月 全国憲法会議レポート

○今年は、憲法公布80年、節目の年にふさわしい活動をすることを重視し、当面、特別国会最終日の7月17日までをにらんだ運動方針を決めました。

○2026年・春の憲法運動交流会―3月24日

全国憲法会議事務局の平井正さんに「話題提供」をしていただき、憲法会議に参加している全組織に活動報告または決意表明をしていただく。

○「憲法意見広告」5月3日『埼玉新聞』に掲載

例年より幅広い人たちに申し込み用紙を配布し、必ず昨年を上回るようにする

○「憲法誕生80年記念集会」5月29日 埼玉会館小ホール（定員500人）

第1部―記念講演「憲法を守り続けてきた市民の力」 高田 健さん

第2部―「憲法のここが好き」団体アピール

○第15回・オール埼玉総行動実行委員会―6月7日 北浦和公園

ゲスト・スピーカー― 前川喜平さん

●新しい共同組織

「スパイ防止法に反対する埼玉連絡会」結成―3月27日
事務局―埼玉憲法会議と埼玉県平和運動センター（1000人委員会）

●活動報告

- ①毎週金曜日の昼休み、浦和駅前で宣伝行動。これまで450回
- ②スパイ防止法学習会―2月20日 参加340人 講師・海渡雄一弁護士
- ③埼玉弁護士会の「自衛隊を憲法に明記することに反対するパレード」
3月11日 参加120人 憲法会議からも参加
- ④憲法会議に参加している埼玉土建労組が、本部正面に「9条の碑」を建設計画。組合員に100円募金をお願いし、250万円集める計画。

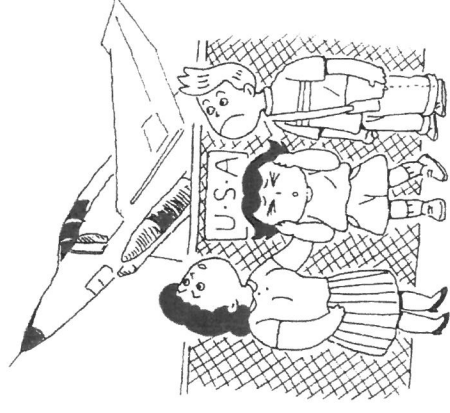
今、街頭宣伝が面白い

●国会開催中、毎週金曜日12:00~30分実施している「戦争させない！埼玉の会」の宣伝に、選挙後大きな変化が生まれています。共通する話題は「高市首相はコワイ」「戦争はいやだ」です。

【2月13日】

○ロッカー風のギャル「住所も書くの？」

金髪に長い付け爪のロッカー風の若い女性が署名机に来
て「住所も書くの？」と聞かれたので、「あなたの意思表示
だから市町村名だけでいいよ」と言ったら、にっこり笑って
「がんばってください」といながら署名してくれました。



○署名順番待ち一憲法リーフにじっくり目を通す

渡した憲法リーフを読みながら署名の順番待ちをしていた若い女性に「名前だけでもいいですよ」と言ったら「住所も書きますよ」と快く署名してくれました。

○「生まれてくる子のために憲法勉強しました」と乳母車を押した女性

「妊娠8か月の時、この子の将来が心配で、独学で憲法の勉強をしました」という女性は、署名を終えてもなかなか去ろうとせず、新婦人の仲間が名刺を渡して意見交換。その後、その女性がSNSに「今日浦和駅前で、憲法守る署名してきたよ」と投稿し、約400人が「いいね」と返していました。

○「9条は変えた方がいい」・・・でも最後は握手（自民支持の70代男性）

自民党支持を名乗る70代の男性は「9条変えないと日本は外国から相手にされない」と15分ほど話し合い「戦争だけはだめだな」と意見が一致し「今日は楽しかった」と、最後は握手で別れました。この人は、その後、2週続けて私たちの宣伝を見に来てくれています。

【2月27日】

○「中国人はみな優しかった」・満州から引揚者 2000円カンパ

「名前だけでもいいですか？」と署名机に近づいてきた女性は、「4才の時満州から引き揚げてきて、戦争だけは絶対嫌だと思ってきたのに、高市さんは本当に戦争しそうでこ

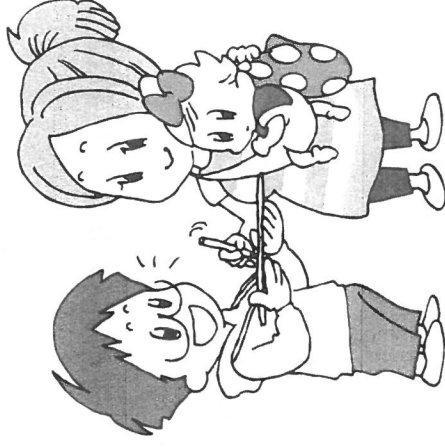
ワイ」と、2000円カンパしてくれました。そして、残留孤児の問題で「中国人はみんな優しいですよ」と話していました。

○「電車1本遅らせて」・カンパ1000円

中年の女性は、「戦争に反対する宣伝が見えたので、電車1本遅らせて署名しに来ました」と言い、カンパ1000円を出してくれました。

○男性2人が飛び入りで参加

これまで、他の場所で平和の大切さを訴えてきた年配の男性2人が、「今、みんなが力を合わせるときだ」と、私たちの宣伝に加わり、大きな声で「憲法守ろう」「戦争反対」と訴えてくれました。そして、「これからも、一緒に参加したい」と語っていました。



【3月6日】

○街頭で2人から「憲法意見広告」申し込み

沖縄出身の女性は「沖縄が再び戦場になりそうだととても心配」と署名し、憲法意見広告に2口分1000円を置いていきました。

○開始前から署名待ちの女性

3週間前に「今日は忙しいからまた来る」と言っていた女性が、12時の宣伝開始前から待っていてくれて署名し、憲法意見広告も申し込み、短時間スタンディングにも参加してくれました。

【その他】

○「スパイ防止法はいらない」学習会に340人・カンパ13万円

2月20日の「スパイ防止法はいらない」学習会にコロナ以来最高の340人を超える参加で熱気あふれる集会となり、13万円のカンパが寄せられました。

○全国初、弁護士会のパレードに120人

埼玉弁護士会が呼び掛けた「憲法に自衛隊を明記させない」パレードに、平日の昼間で120人が参赤。弁護士会のパレードは今年、全国初めてで参加者に大きな激励となりました。

1. 活動の報告

①2025年3月15日、東京憲法会議は結成60年を迎えた。記念行事として取り組んだ、三上智恵監督の講演、五田市憲法草案をめぐるバスツアー、そして「60年のあゆみ」の発行など東京憲法会議60年事業はその後のとりくみへの確信となった。東京憲法会議のホームページも作り、憲法ニュースを毎週発行（20250325の713号から、20260313の775号）するなど、情報発信にも努力してきた。会員向けの「東京憲法会議通信」も復活させた。

②東京憲法共同センターと共に、憲法審査会の傍聴をとりくみ、定例街頭宣伝などに参加し、「全国署名」のとりくみを進めてきた。12月8日には、防衛ジャーナリスト・半田滋氏（元東京新聞論説兼編集委員）と東京憲法会議・田中章史事務局長を講師に「12・8 憲法全都学習会『戦争への道か、憲法の力か 一極右政治と対米従属の代償一』を開催。その講演を20分程度にまとめたミニ動画と講演全体を記録した全体動画を各組織に配信した。

2. 2026年の活動方針

(1)5つの運動の中止課題

高市極右政権のもとで、戦争する国づくり（実質改憲）と明文改憲が強引に進められ、衆院憲法審査会での「条文起草委員会」設置や「改憲原案の強行採決」などが言われている。

一方で「憲法守れ！」と対抗する市民の運動の広がりが起きている。

東京憲法共同センターと共に、以下の点を運動の中心課題にしてとりくむ。

- (1)高市改憲を止めるため、憲法を読み、学び、広げる活動を職場、地域で進める。
- (2)「戦争反対、9条守れ」をテーマにした新しい署名（準備中）を持って対話を進める。
- (3)憲法審査会の傍聴の強化と、議員への働きかけを強める
- (4)来年の統一地方選を念頭に、地方自治体や地方議会への働きかけを強める
- (5)憲法を真ん中に、新しい市民と野党の共同を追求する

(2)具体的なとりくみ

①「軍拡か、くらしか」憲法東京アクション2026をとりくむ。

東京憲法会議61回総会とセットにした3・20春の憲法学習会（中野晃一氏の講演）をスタート集会和位置づけ、2026年4月1日～5月31日の期間に次のことを行う。

◆4/1～5/31 全都宣伝行動

主要駅前・商店街などで期間中2回以上の宣伝行動を計画し、東京全体での目標を延べ80カ所以上とする。

◆衆参憲法審査会の傍聴や議員要請行動

改憲原案を協議する「条文起草委員会」の設置で密室での改憲議論も想定されるため、憲法審委員や国会議員への働きかけを強める。

◆自治体請願行動

各自治体に対し、軍事優先ではなく、くらし・福祉・教育優先の予算編成憲法の理念を尊重した自治体運営を求めめる請願・要請行動を行う。

②憲法学習を旺盛にすすめる。学習、宣伝に活用できる「リーフレット」を作成する

(3)東京憲法会議として

①月刊憲法運動誌と憲法しんぶんの拡大

②会員拡大を追求する

③事務局体制の拡充